

令和元年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

事業名 依存症オムニバスドラマの作成

<活動内容の概要>

アルコール・薬物・ギャンブル依存症者を取りまくオムニバスドラマをコミカルかつ特殊映像を駆使しこれまでにないような啓発動画を作成しました。

各回10分程度の3本立てで、依存症で困っていた人達に動機づけから治療へとつないでいく道筋が描かれています。

<事業の成果>

ここ数年厚労省の啓発スローガンでも「再起を応援する社会へ」が掲げられてきましたが、実際にはまだまだ誤解や偏見が強く「理解はできるが自分は協力できない。」「必要なことはわかるが身近には来て欲しくない」という人々が大半を占めています。

そういった姿勢が、回復施設の排除運動などに繋がっていることを鑑み、主役には、覚せい剤取締法違反で逮捕され 2019 年度現在 執行猶予期間中の俳優高知東生氏にあえてお願い致しました。

今回のドラマでは、俳優の宮崎吐夢氏が共演、映画監督の白石和彌氏がプロデューサーとして加わって下さることとなり、まさに芸能界からの再起応援団が実現致しました。

こういった芸能人の話題性も、社会の頑なな排除、排斥傾向を緩和することが可能になると考えています。

また、俳優や監督の固定ファンら、依存症にこれまで興味を持っていない人が、依存症の話題を目にするという効果も狙いました。

<団体ホームページ>

公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

<https://scga.jp/>



高知東生 氏



宮崎吐夢 氏



白石和彌 氏